

# 幼保小の かけ橋 プログラムだより

このお便りは、横浜市の「架け橋プログラム」の一環として発行しています。架け橋期の教育の充実のために、みなさんの取組に生かしてください。



T 校長先生、先日の靴箱とトイレの話が好評で、知らなかったことがたくさんあったと多くの方に声をかけられました！

K 保育園長

T 小学校長



私もです。「トイレのドアがあんなに低いなんて初めて知った。」「だからトイレがこわいと思うんだ。」といった感想がたくさんありました。

園と学校それぞれの施設の「当たり前」が、連携先にとっては新鮮な情報になる、ということがあるようです。それを知ろうとすることが互いに架け橋をかける大切な一歩ですね。

今回は、夏ならではの特集として、「園のみずあそび、学校のフール学習」について取り上げます。なお、小学校のプール学習は体育の授業として行っています。

## 園と学校の「フール」

ほとんどの小学校が、運動場や校舎の屋上に7m×2.5mのプールをもっています。水深は1mほどで、プールに入る学年によって水の量を変え、深さを調整しています。



園の場合はビニールプールを使用したり、夏の使用する時期にだけ組み立てて園庭に設置したりと、施設の場所や大きさによっても様々です。

横浜市公立保育園の場合、多くは組み立て式で大きさは小学校の半分以下程度。深さも80cmくらいで年長児の腰あたりまでしかありません。シャワーは温水が増えてきています。

え！温水ですか！それはびっくりです。それなら、学校のプールで水のシャワーに驚く子が多いのもうなずけます。



## 「みずあそび」と「フール学習」



水で楽しむ、水に慣れるということをだいにしています。そのため、みんなで一緒に潜ったり泳いだりすることはほぼありません。

### 【園の水遊び】

手をつないで丸くなって

フープや、ホースの水で作ったアーチをくぐる

おもちゃを使って宝探し

先生のワニ歩き  
の背に乗って



これは楽しそうですね。学校でも、1年生が安心して楽しんで取り組めるように工夫しています。



### 【小学校1年生の水泳学習の流れ】 (小学校体育読本「たいいく1・2年」より)



小学校の体育では「泳ぐ」というイメージでしたが、園と同じような遊びからスタートするのですね。園でもたくさん遊んでおくといいですね。



園と学校の当たり前、知りたい情報がありましたら、ぜひ ↓ までお寄せください。



子ども青少年局保育・教育支援課 幼保小連携担当